

2008.01.29 (火) 18:00

大阪大学医学部講義棟 A 講堂

第 36 回未来医療セミナー

中枢神経回路の再生に向けた戦略

大阪大学大学院医学系研究科
分子神経科学 教授
山下 俊英 先生

中枢神経回路は脳虚血、外傷、脊髄損傷などにより深刻な打撃を受ける。中枢神経疾患による神経脱落症状を緩和する有効な治療法はなく、新たな治療法の開発が待ち望まれている。そのためには、なぜ中枢神経回路が再生しにくいのかという問題を解決しなければならない。近年、中枢神経系には軸索の再生を抑制する蛋白質が複数存在することが明らかになってきた。ここ数年で、それらの再生阻害因子がどのように神経細胞に働きかけ軸索再生が阻害されるのかという分子メカニズムが明らかになり、治療的な展望も開けてきた。複数の分子ターゲットに対する治療法を時間的空間的に組み合わせることで、機能的な中枢神経機能の再生を導くことが可能になるのではないかと期待される。

連絡先：未来医療交流会（大阪大学医学部附属病院未来医療センター内）

Tel: 06-6879-6557/6551, Fax: 06-6879-6538

E-mail: koryukai@hp-mctr.med.osaka-u.ac.jp

[Http://www.hp-mctr.med.osaka-u.ac.jp/](http://www.hp-mctr.med.osaka-u.ac.jp/)

協賛：大阪大学 21 世紀 COE プログラム「細胞・組織の統合制御にむけた総合拠点形成」

- Center for Integrated Cell and Tissue Regulation -